

# 令和2年度 第9回旭市学校再編計画策定委員会 会議録

1 期 日 令和2年6月26日(金) 開会 午後1時30分  
閉会 午後3時00分

2 場 所 海上支所 3階会議室

## 3 出席者

会 長	加瀬 正彦 (副市長)
副 会 長	伊藤 啓子
委 員	富山 理
委 員	伊藤 英希
委 員	向後 三郎
委 員	芳野 守
委 員	渡邊 錦一
委 員	小倉 和也
委 員	伊藤 義隆 (財政課長)
委 員	宮内 敏之 (行政改革推進課長)
委 員	加瀬 政吉 (学校教育課長)
市 長	明智 忠直

### 《事務局》

庶 務 課 長	杉本 芳正
庶 務 課 副 課 長	飯島 和則
庶 務 課 施 設 班 班 長	八馬 裕樹
庶 務 課 施 設 班 副 主 査	林 義樹
庶 務 課 施 設 班 副 主 査	小林 尚嘉
庶 務 課 施 設 班 主 事	内田 功詠
学 校 教 育 課 指 導 班 班 長	岩井 玲

## 4 開 会

### ・事務局

それでは定刻となりましたので、これより「第9回旭市学校再編計画策定委員会」を開会いたします。本日は大変お忙しいなか、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。私、本日の進行を務めさせていただきます教育委員会庶務課の八馬と申します。よろしくお願いたします。

はじめに本年度に新しくご就任いただきました、委員の方々への委嘱書の交付式を行います。

## 5 委嘱書交付

- ・市長から委員3人へ委嘱書を交付する。

## 6 市長あいさつ

どうも皆さんこんにちは。コロナ禍のなかで、公私とも大変お忙しいなか、また神経を使っている日常生活のなかで第9回旭市学校再編計画策定委員会ということで、皆さん方にお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。ご苦労様でございます。また、昨年からの組織を立ち上げたわけですが、今日3名の方に再編策定委員会委員に就任していただきました。これから旭の学校の再編のためにひとつお骨折りをいただくということで、よろしくお願申し上げたいと思います。また、伊藤先生には千葉から遠いところお出でいただきましたことを、改め心からお礼申し上げたいと思います。ウィズコロナ、ポストコロナ、アフターコロナ、色々とコロナの終盤といましようか、まあ2波3波も予想されるわけでありませうけれども、そういった中でも新しい生活様式、日常生活、そういったものが模索されて順守されていかなければこのコロナの終末は迎えられないのではないかな、そんな思いでいるわけですし、それにつけても皆さん方の色々な面で、ご指導ご支援ご協力をお願いしたいと思います。旭市も学校のあり方検討委員会を2年余りやってきたわけでありませうけれども、具体的にそろそろ今後の旭市の学校のあり方というよりは、再編計画の策定をしていかなければ、そのような時期に来ているのではないかな、これまで色々な方に知恵をお借りしまして、今後の小中学校のあり方を模索してきたわけでありませうけれども、いま策定委員会の結論がすぐ実行されるわけではありませうけれども、市民の合意形成を図るためにはある程度の期間が必要ではないかなと、そのような思いのなかで学校の再編計画の策定をしていただくということで、皆さんにお骨折りをいただくところでもあります。予定では今年いっぱいくらいに将来の旭市の小中学校の再編の方向付けを策定員会を出していただくということのなかで、それから市民に周知徹底といましようか、場所の選定等、色々ありますのでほんとに難事業でありまして、旭市のこれからのまちづくりの基本ともいべきものであろうかと思っておりますので、皆さん方にはこれまでの色々な面での知識を出していただきながら策定をしていただきたいと思いますところでもあります。旭市もコロナの中で小中学校も3月から3カ月余り休校したわけでありませうけれども、いま再開をしまして、子供たちも元気で勉強や運動、そういった部分では3

密や新しい生活様式を考えながら勉強に運動に取り組んでいることと思います。我々行政としましては、将来の日本、地域を背負って立つ子供たちのために、如何に順調に子供たちが成長できるような環境づくりをしていかなければと、そんな思いでいますので、皆様方にもよろしくお願いを申し上げたいと思います。再編計画といいましても、私の考えでは2030年を目途に第一歩を踏み出すというようなことで良いのかなというような考えもありますので、是非それまでに市民の合意形成が図られるような、そんな良いアイデアを出していただければなと思っております。まだまだ不安の続く毎日でありまして、自分たちの生活もほんとに心配な中でありまして、子供たちも色んな部分でそういった問題を抱えながら、これからしばらく教育の面でも、色んな面でお骨折りをいただくわけでありまして、どうぞ今日の検討委員会もしっかりと議論していただきながら、健康にも注意をしながら、どうぞよろしくお願いを申し上げまして、長くなりましたけれどもご挨拶に代えたいと思います。よろしくお願います。

## 7 委員紹介

(各委員を事務局より紹介する)

## 8 事務局紹介

(事務局自己紹介)

……………市長退席……………

## 9 会長あいさつ

先ほど市長から挨拶があったとおり、できれば今年度にと、そういう目標がございました。昨年、8回開催させていただいて、そのうちの3回は現場を見に行きましょうということで、視察をさせていただいたところでありました。3月に会議をやりましてから丸3カ月ほど空いたんですけども、この間、事務局にはこれまでの経緯をしっかりと捉えて、その中でどういう形でまとめていけるのかと、そういう検討をさせていただいたところでありました。今日は新しい委員さんもいらっしゃいますので、昨年度の会議の振り返りを若干いたしまして、その後小学校はこういう形、中学校はこういう形でどうなんでしょうかという配置を示しまして、その中でご意見を伺いたいなと思っております。すべては子供たちのために、何が一番良いのか、そこを考えて進められたらなと思っております。それぞれ立場立場で色んなご意見があるかと思っておりますけども、そののところは何とか妥協できるところは妥協して、ほんとに旭市の将来にとってこういう形だったら、ずっと子供たちが学べるのかな、そういう姿を捉えて再編計画を立てていきたいなと思っておりますので、よろしくお願いたします。

## 10 議事

### ・事務局

それでは、これ以降の議事については、委員会要綱に沿って、副市長に進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

・議長

それでは議題に沿って進めたいと思います。、議題1の「会議の運営方法」について、資料1になります。これは事務局より説明をお願いします。

・事務局

「旭市学校再編計画策定委員会設置要綱」、資料1「会議一覧（予定）」により説明。

・議長

事務局から会議の運営方法について、説明がございました。今の説明の中で何か不明な点等があれば質問を受けたいと思いますが、いかがですか。これは決められた話をただけですので、次の議題に進みたいと思います。新年度になりましたので、令和2年度の児童生徒数の状況と部活動の状況について事務局から説明させます。お願いします。

・事務局

資料2「令和2年度児童生徒数・部活動の状況」により説明。

・議長

ただいま、令和2年度になりましたので、改めて小中学校の児童生徒数、部活動の状況ということで説明がありました。ただいまの説明を受けまして、ご質問等あればお受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。

・委員

〇〇小、〇〇小の児童数が6名、7名ということなのですが、近々には複式学級にはならないとおっしゃっていたのが、記憶にあるんですけども、この数字は予期せぬことでして、この次に入ってくる子どもたちは複式を考えざるを得ない状況まできているのでしょうか。

・委員

複式学級を編成する場合なのですが、小学校の第1学年を含む場合については、その当該学年に引き続く1の学年、要するに2年生と併せて8人以下の場合に複式学級になりますので、今回の場合で言いますと、〇〇小も〇〇小も2年生と併せると8人以下になりませんので、複式にはならない。当然、来年になりますと1年生が入ってきますので、1人、2人入ってくれば複式にはならない、こういうことになります。

・議長

その他、ございますか。これは事実に基づいた資料ということですので、続いて議題3「小規模学校の状況について」でございまして。昨年度に佐倉市の小規模特認校「弥富小学校」について、地域の特色を生かした学校運営を視察していただいたところでありまして。参考までに、本市における小規模校の現状について、3校の校長先生から伺うことができましたので、事務局より説明します。

・事務局

資料3「小規模校学校の状況」により説明。

・議長

ただいま事務局から小規模校の状況ということで、〇〇小学校、〇〇小学校、〇〇小学校の状況、これを調査した内容ということで、報告していただきました。いまの中で不明な点や確認したい点があれば質問を受けたいと思いますがいかがでしょうか。

・委員

〇〇小学校の⑦の2つ目に「修学旅行は、他校と合同実施する。」となっていますけども、これはそういう可能性があるということではなくて、実際もう実施している例なんですか。

・事務局

はい、〇〇小学校の修学旅行につきましては、お隣の〇〇小学校と一緒に合同で修学旅行に行かれているということでした。

・議長

その他ございますか。確かにメリットデメリットがあるんだろうと思います。ただそういう中でも子供たちの事を考えていくと、本当にこのままで良いのかどうかというところは、やはり出てきてしまうのかなと思います。

・委員

先ほど、複式学級の説明の最後に大事な言葉が抜けていましたので、訂正します。8人と数字は言ったんですが、8人「以下」になってしまうと複式になります。1年生、2年生を併せて9人以上いけば複式学級にはなりません。8人だと複式学級になります。以上です。

・議長

それでは、議題4「学校再編計画案について」でございます。第8回の会議の中で中学校を概ね〇校に再編するという方向性が出ました。それについて、事務局でたたき台を作成しました。また、これに併せて小学校の再編案について、今回の会議においてある程度の方向性を定めていきたいという思いもありまして、この資料4・5・6になりますけれども、事務局から説明させたいと思います。

・事務局

資料4「学校再編計画（案）」・資料5「中学校再編案」により説明。

・議長

いま中学校につきまして、3つの案が示されました。新しく委員になられた皆さんにおかれましては、初めて目にするかもしれません。この後小学校の説明もあるんですけども、新委員さんもありますので、一旦確認したいところ等がありましたら受けたいと思いますが、いかがでしょうか。

・委員

ご説明ありがとうございます。資料でちょっと確認したいんですけども、建物の対応年数のところで、長寿命化をして80年まで使っていくということによろしかったでしょうか。この資料にある改修というのは、これが長寿命化ということによろしいのでしょうか。干潟中学校で令和17年に築72年で改築ということだと、あと8年間使えるということによろしいでしょうか。

・事務局

そちらの説明が不足して申し訳ありませんでした。言葉を色々を使ってしまって申し訳ないんですが、改築という言葉は、新たに建て直すということになります。どうしても72年経ちまして、あと8年で80年の対応年数が来てしまいますので、〇〇中学校は具体的に言いますと、〇〇という体育館の東にある建物でして、その校舎はその時点で72年経ってしまいますので、そこは取り壊しをして新たに建てるか、もひとつ隣に校舎がありますので、そちらを活用するのか、そういった検討が必要ということがありましたので、この時点では改築という言葉を使わせていただきました。改修というところと大規模改造というところがございますが、長寿命化というところでは、20年、40年、60年という節目で長寿命化の工事が必要となってきます。改修と大規模改造というのは似たようなイメージを持っていただいて、屋根の改修とか、耐震とか、模様替え関係ですね、壁や床を直すこととか、そういったことをしながら長く使っていくということが、改修や大規模改造ということになりますので、ちょっとややこしくて申し訳ありませんが、そういったイメージを持っていただければと思います。

・議長

〇〇委員はいかがですか。

・委員

先ほど、〇〇中学校のほうを小学校に統合して使うという案ですけれども、中学校の校舎を小学生が使うということで、構造上の問題点というのはいないですか。

・事務局

第7回の資料になりますが、その中で小学校を中学校に転用した場合というところで、事務局で検討させていただいております。建物自体の違いというのと、階段の蹴上の高さが違うとか、そういったものがありますが、階段に手すりを付けてあげることによって小学生でも使えるとか、そういった工事をすれば中学校を小学生が使うという事は問題がないという事をご説明させていただいております。あと、中学校で使わなくなるテニスコートや駐輪場は、小学校ではいらなくなってくるものもありますので、そこは少し改修をして、送迎のターミナルといったものに機能転換が必要となってくるかなと思います。

・委員

そのまま使えるといっても、ある程度改良しなかったら使えないということですね。

・事務局

はい、そうです。

・議長

中学校は○校が良いのではないかというのは、前回の会議の中での概ねそういう方向性が出ていましたので、今回この○校にした時にはこの案が考えられるということで、事務局のほうでお示したところであります。それも建物の耐用年数、それから生徒の数、統合したときに今の推計の状況では、こういう人数になりますということを含めて示したということでございます。このまま関係しますので、資料6の小学校のほうも説明を受けて、その後、全体として意見をいただきたいと思います。

・事務局

資料6「「小学校再編案」により説明。

・議長

小学校についても、これまでの議論を踏まえまして○校案と○校案ということで、事務局のほうで案を示させていただきました。これらについて、率直なご意見をいただけたらなと思います。

・委員

ひとつ気になるのが、〇〇中学校を転用して小学校にということではありますが、〇〇中学校は溜池を埋めて一部グラウンドを造っている関係があつて、確か平成23、4年頃に大雨が降った時にグラウンドが水没して職員室のフロア間近まで水が溜まったという経過があつて、今後、異常気象とか色んな面を考えると、溜池の機能をちゃんと昔の機能に戻すような対策を取らないと、今後、雨による被害が想定できるかなと思います。そういった気象状況とか色んなものを考えた中でいけば、またちょっと検討しなければいけない部分なのかなと思います。あとは既存の学校でそういった心配をしなくて良いような所があれば、そこを活用していくのも手かなと思います。また、せっかく統合して場所も変わるといふのであれば、もう少し違った場所を探して、より安全な場所だとか、例えばもう少し南の方へおりた中で、〇〇小の近くの方とか、〇〇小の位置的なものを考えた中で検討しても良いのかなというのが、気になった点です。もう少し〇〇地域については、場所的なものを考えても良いのかなということで、意見を言いたいと思います。よろしく願います。

・議長

ありがとうございます。いまの意見は、〇〇中は災害等に対する備えの部分、それからもう少し南へ行つて〇〇小とと。これは小中一貫校で新設すればという案に近いところが

あるのかもしれませんが、それはもう少し検討させていただければと思います。〇〇委員さんいかがですか。〇〇委員は、どちらかという小規模校があっても良いんじゃないかなというご意見をいただいたところなので。

・委員

今も会長のほうからお話があったとおり、実は前回の会議の会長のご挨拶のなかで、小学校を最低でも〇〇にしたいというお話があったんで、びっくりしちゃったんですけども、それを踏まえて〇校、〇校案が出てきたのかなというふうに思っているところなんですけども、現実的にはそうかもしれないんですけども、私としては基本的な部分は、小学校というのは地域の拠点といった面もありますので、残していただきたいというのは基本的に思っております。それを踏まえての案についてなんですけども、この2つの案、〇〇と〇〇の動きという関係かなと思いますけども、そうすると、付随して〇〇、〇〇とか、〇〇小がちょっと影響するというので、例えば〇〇の場合だと、〇〇小学校へ統合するという話ですよ。あと〇〇、〇〇、〇〇が統合する場合は〇〇ということで、地域の中心という事で、〇〇小は新しいけれど〇〇にしますよと。〇〇、〇〇、〇〇小の場合は〇〇にしますよと。〇〇は相当偏った場所にありますので、ちょっとこの辺は考えていただきたい部分はあるのかなと思います。〇〇と〇〇は人数が少ないんですけども、すごく学区が広いので、いまの小学校の場所でさえ遠くから通っている子もいるかと思うんですけども、そのへんはちょっと検討いただくか、〇〇の新築というのもありますけども、そういう事も含めて少し考えていただきたいと思います。

・議長

〇〇か〇〇の新築か、この2択でいけば〇〇のところに新しい学校も有りかも、そういうご意見もあるんだろうなと思いました。

・委員

〇〇中学校の再利用は少し考えてみたほうが良いかなと思います。やっぱり環境的に西側、東側と南側を通る道路は、車が多く通る道路があるんですけども、門からすぐ出て道路という感じなので、環境的に小学生が居ていい環境じゃないような気がするんですけども、〇〇中学校を小学校にというのは考えにくいかなと、それだったらまだ新設のほうが、〇〇小学校、〇〇小学校、〇〇小学校は、新設のほうが集まりやすいんじゃないかと思えます。自分たちのいる小学校を廃校にして、〇〇中学校の校舎を見て大変不思議な造りで、2カ所の階段から各々の教室に上がるという、とても校舎とし見るとどうしてそういうものを造ったのか不安に思うくらい。逃げる時も2階の人はここからじゃないと逃げられないという造りなので、〇〇中学校を再利用と考えるのは難しいのと、耐用年数を考えると、築7年だとこれ以上の使用は建物の管理もそうだし、給食センターの跡地の利用も恐らく市の土地だと思うんですけども、そこを使用しても良い感じの、こう校舎があっ



てグラウンドを見下ろせるみたいな、再利用を考えてもう一回建物を建てるというのも厳しいと思うんで、できればもうちょっと平らな土地がたくさんありますし、JAの建物もありましたし、どなたかドンと土地を寄付していただいて、建てていただければ小学生も通いやすいし、山を背にして避難していくのがあるので、山に向かっていくような避難の形態ではなく、どちらかというと南に降りていくような状態がよろしいと思うんです。私は新築に1票を投じたいなと思います。あともう1点なんですが、〇〇地区がだいぶ広いのに、端っこの〇〇小に集約するのは、なかなか難しいのではないのでしょうか。〇〇小は100人を割ってくるので、100人割ると厳しいんですよ。ちょっと広いところに〇〇小を集約しても良いのかなと。最後の最後に〇〇小を生かして、〇〇小の耐用年数で使用不可である状態までは2校あってもいいんじゃないかと思っちゃうんですけど、2校あれば〇〇小学校を〇〇なり〇〇にいくのは難しいことではないかと思うんですけども、〇〇小を生かしたまま、〇〇小は実際のところ各学年2クラス、全体で12クラスあるので、ほんとに良い状態なので、このままクラス数を増やしても、これより良い状態にならないのではないかと思うんですけども。あと、〇〇と〇〇のほうなんですけども、これは先ほど中学学区の話がありましたけれど、上に行くのか下に行くのかで分けてもいいのかという話も確かにそう思います。小学校で一緒だったのに、〇〇地区だったから上の中学校のほうに、片方は違うほうに分かれるというのは、教育の一貫性というとあれなんですけども、仲間が分かれるのは問題があると思いますので、もし①中に合流する場合に、〇〇と〇〇と一緒に合流するのであれば、そこは〇校案でも良いのではないかとおもうんですけども、もし中学校を〇で行きますよということであれば、小学校から分離させておいたほうが子供たちの精神安定上は良いのかなと思いました。

・議長

ありがとうございました。やはりそれぞれ色々な意見がありますので、そのところは、意見を出していただいて、確かに〇〇のところ、だいぶ西に寄ってしまうなという感じは現実にありますので、それから〇〇の問題。

・委員

〇〇小学校は住宅地で頑張りますって言うところに、じゃあ〇〇の方っていうと、旭市の計画は何なんだという事になるので、〇〇小は残したほうが良いような気がするんです。

・議長

〇〇委員いかがですか。

・委員

いま色々のご意見うかがって、旭市のまちづくりとうのも、すごく関わっているんだなと。私は旭市を良く知らなかったんで。〇〇小地区というのはベッドタウンではないんで

すけども、通勤に通うような人が住むような場所ということで発展しているのかなと、さっきわかりました。そういうのを考えてみると、なかなか決めづらい面が出てくると思うんですが、確かに子供たちが良い環境で学ぶというのをひとつ大きな柱として、また学校というのは地域のコミュニティがあつての学校なので、そこも考えていかなければいけないとなると、すごく難しくなるんですけども、社会が変化していく中で、例えば私が住んでいるところも1校来年から無くなるんですけども、やはり地域の人が昔からそこは模範村だったので、その学校は無くさないでほしいという意見が多かったんですが、来年から1校無くなってしまいます。そこも実はバブルが終わった1990年代は家を建てる人が多くて人口が増えていったんですが、その後段々減ってきて複式学級となってしまって、じゃあ、そこを残しておいて、はたして学校が残れば人が住んできて更に学校が大きくなるかといったら、やはり社会が変化しているので、そこに住みたい人が減ってしまっている現実を見て学校の再編をしていかなければいけないのかなというのを、自分の身近な学校が無くなるという経験からも感じているので、なかなか地域の実情等もあつて、はっきりこうとは言えないんですが、私のわかる範囲でこの子供たちが、これからの社会を多くの子供たちと関わりながら、自分の考えを発信して、色々な友達の意見ももらって、更に考えを広めていく、そういうような経験をして小学校、中学校、高等学校、また大人になっていって、変化する社会を過ごしていくことを目的とすると、やはりある程度子供たちの数っていうのが、意外と切磋琢磨っていうのができないのかなと思いますので、色々と考えていくと難しいなということです。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

たくさん案を出していただいて、それぞれの組み合わせのひとつひとつに背景があつて、私が知らないことも沢山ありました。借地が結構多かつたんだとか、色々な問題がありましたので、これひとつひとつじっくり丁寧に背景も考えながら検討しなきゃいけないなと思いましたので、持ち帰って少し勉強したいなと思います。今のところは意見ありません。

・議長

〇〇委員いかがですか。

・委員

自分は〇〇小学校の出身なんですけども、先ほど〇〇委員からも出ていたんですけども、〇〇小は、人はいるんですけども周りが住宅地となっているので、バスとか何かしら来るのはちょっと難しいかなと思っていて、〇〇と〇〇が2つになれば、ちょうど人数的にも良いかなと思ったりしました。あと、やっぱり借地に結構お金がかかっているなという

ことにびっくりしました。

・議長

ありがとうございます。〇〇だけを3つぎゅっとまとめるのではなくて、2つにまとめる案ですね。そのほか、小学校のほうではじめて説明を聞いたと思うんですが、〇〇委員いかがですか。

・委員

案1と案2というのがありましたけれども、この2つを見た場合、案1のほうが地域性を考えると良いんじゃないかなと思います。というのは、〇〇が各1つに統合されます。それと、〇〇のほうは、〇〇小学校を除いてあと〇校が〇校に統合ということで、一市民として考えた場合は、これが公平で均衡がとれて、市民や保護者からも受け入れやすいんじゃないかと思います。

・議長

ありがとうございます。〇〇委員いかがですか。

・委員

正直、この資料を拝見させていただいて、まだ十分そのメリットデメリットと学校の規模ですとか立地条件とかが頭に入っていないなかで、意見が出てこないのが正直なところなので、よく見させていただいて確認をさせていただきたい。あと他の委員の意見を聞いて、確かにそうだなと思うのは、〇〇委員がおっしゃっていた、〇〇小学校と〇〇小学校で中学校になったら学区が分かれてしまうとか、確かにできれば同じ学区に進んでいくのが良いんだろう、そうさせてあげたいなと思いました。あと、私は〇〇の出身なので、〇〇のほうは地理的な部分は十分わかっていないんですが、〇〇委員もおっしゃっていた〇〇の統合については、確かに偏った場所にこの検討の案としては統合された学校があるんだなという認識を持たせていただきました。以上です。

・議長

ありがとうございます。今回は、あくまでも再編案について、事務局で示しましたので、これについてどう考えるか意見を交換しながら、できれば集約していきたいと思います。先ほど、資料1のなかでの会議のスケジュールを示しましたが、実際には10、11、12回の中で、再編案の検討ということで、もう少し踏み込んで議論する必要があるのかなと思います。ですから今日お示したところで、きょう結論をとるところではございません。さらに、資料4で学校再編計画ということで、何らかの形でまとめて報告する必要があるということで、冊子形式にしていく必要があるんだろうと。その中で、例えば書き方としてこういう順序になるのかなというのを事務局で作りましたので、これについてもこういう流れで良いのかどうか、今日の資料をご自宅に持ち帰っていただいて、そ

このところを見ていただければなと思います。新しい委員さんにつきましては、前回までの資料も見ていただきたいと思います。そのほか、〇〇委員いかがですか。

・委員

私が注目した点は、〇〇委員と同じで、〇〇小と〇〇小と〇〇小学校をどうするかというところで、その辺で小学校と中学校の再編が変わってくるのかなと思っていました。小学校は〇校と中学校の案1であれば、〇〇小学校と〇〇小学校が分かれるという形になりますが、そのほうが良いのかなと。それは小学校の校数の問題があって、30年後、40年後はだんだん人口が減ってきますし、生徒数が減ってくると、〇校では多いのかなと思っております。前回〇校案もありましたよね。

・事務局

今日は事務局として〇校と〇校案を提出させていただきましたので、今回を含めて腹案が必要でしたら、また提案できるのかなと思います。

・委員

〇校でもちょっと多いのかなと思います。2060年でみると結構少ないところが出てきちゃいます。それと、どういった学校を利用するのかということにつきましては、あと10年や20年しか使えない校舎を改築して使うのかと、どういった判断をするのか。おそらく大規模改造は1億、2億円では行えないのではと思います。じゃあ、10年使って元が取れるのか、とかを計算しながらある程度年数が経った建物については、思い切って壊すといったことも視野に入れて進めていかなければならない。そこら辺の塩梅はすごく難しいと思います。それは数年後になるとと思いますが、念頭に入れておいたほうが良いと思います。

・議長

いま〇校案の話も出たし、その先の改修のスケジュール的な話もありました。そういったものも、先に示せれるのであれば示してもらってもいいのかなと思います。その辺の資料作りはお願いします。〇〇委員いかがですか。

・委員

学校現場という面からお話をさせていただきますと、小学校は比較的少ない数でもそれなりの事ができるし、なおいっそう目が届くという面では大きな学校よりは小さな学校のほうが良いのかなと思っています。中学校はどうかというと、色んな絡みがありますので、そこそこの規模がないと無理なのかなと思います。具体的にこれというのは、この場では申し上げにくいところではありますが、感覚として教員はそういうことを感じている教員が多いのかなと思います。

・議長

確かに小学校〇校案、〇校案にしても小学校の児童数というのがそれほど多いわけでは

ありません。文科省が示しているクラス数でも足りないという状況で、〇〇小ぐらいしか理想のクラス数しかないということもありますので、小学校は少なくとも何とかいけるのかなということだと思います。それらの意見も踏まえまして、ぜひこの資料についてご自分の意見も持っていて次回の会議に臨んでいただきたいなと思います。それでは、今日ここでの結論は出しませんので、持って帰って次回に意見をいただきたい。その中でもう少し集約させたいと思います。それと、先ほどお示しいたしました、資料4についても、こういう体裁でよろしいかということも、ぜひご意見をいただきたいと思います。

・委員

やっぱりいまコロナが問題なんですけど、教育現場としては、今までの授業でいくのか、今後模索していくような話し合いになるのかというようなお話があるのでしょうか。少人数制になるということで、実際クラスを半分に分けて子供たちに授業をしている状況で、これが通例化してくると35人1クラスとして計算しても、クラス数が変わってしまう恐れがあるので、時代の流れを把握していかなければならないと思います。

・議長

現状のコロナ対策の中で、各学級を分けて授業をしている状況でありますけども、その辺は、事務局で答えられますか。

・事務局

現状をご説明させていただきます。昨年度エアコンを設置しまして、普通教室と特別教室に分かれながら分散授業を行っております。あと、矢指小など、最新の学校だと廊下側の間仕切りが取れますので、間仕切りを取って廊下まで利用して、机の間隔を開けて授業をしている学校もあります。エアコンが普及しましたので、各学校で工夫しながら授業展開をしている状況です。

・議長

クラスの人数が今の数字のままでいくのかどうか、この辺もう少し文科省が対策を取っていくのかどうかまだ見えませんので、もうちょっとかかるのかな。

・委員

今回からの新しい委員もいますので、もしできれば改めて生徒数の推計をどういった形で計算しているのかを説明していただきたいと思います。それを踏まえて確認したいんですけど、〇〇地域は〇〇小学区は住宅地が拡大しているの、今後の需要も見込まれるところですけども先を見ると結構減っているんですね。これを信じると〇〇は逆に増えているんですけど、〇〇が減っているところで、今後の需要というところと反してしまうんじゃないかなと。推計の出し方の説明を改めてお願いしたいのと、先ほど施設を潰していくというお話があったと思うんですけど、学校施設において元が取れるかとい

う発言があったんですけど、そういう必要があるんでしょうか。学校施設は別じゃないかなと思うんですけど、その辺をご説明いただきたい。

・委員

先ほどのお話ですけれども、例えば70年経った建物は、耐用年数があと10年しかないというところで、そこで5億、10億円をかけるのかということで、それだったら新たに新しいものを建てたほうが経済的ではないのか、そこら辺を計算する必要があるのではないかということです。大規模改造といっても相当なお金がかかります。そこで10年しかない建物に10億円をかけるのか、それであれば30億円をかけて新しいものを建てて80年間持たせたほうが経済的ではないか、そういったことも視野に入れながら進めていかなければならないという話です。

・事務局

人口推計について説明。

・議長

その推計も一昨年に出して、そこから2年経って若干上振れ下振れしていることがあるかもしれません。確かに〇〇小学区や〇〇小学区はやはり家が建ちこんできているので、もしかしたら、その児童数は推計と乖離が出る可能性は否定できないと思います。そこは、現状で乖離が出ているかどうかというのは、一度チェックしていただいて、そのところで乖離が出ていれば、将来的にはこの推計通りにいかない場合がありますよとしつつ、直していくというのも有りなのかなと思います。そのほか無ければ、その他で事務局お願いします。

・事務局

長時間にわたりありがとうございました。次回の会議ですが、事務局(案)として、7月31日(金)を提案させていただきたいと思います。詳細については、追ってご連絡いたします。

・議長

次回会議もよろしくお願いいいたします。そのほか無ければ、以上で本日の会議を閉じたいと思います。ありがとうございました。